

養老の里便り

第 73 号

令和 8 年(2026)

7 月 26 日

老人保健施設 養老の里

リハビリテーションや献身的な看護・介護を中心とした医療サービスと日常生活上のサービスを通して、自立を支援し、家庭への復帰をしていただくための施設です。



地域の皆様へ

猛暑が続く毎日ですが、皆様には如何お過ごしでいらっしゃいますか。日頃、養老の里へのご理解とご支援をありがとうございます。

世の中の動きは相変わらず目まぐるしく、世界を見回すと中東で戦争が続き、日本国内を見ても混沌とした状態が続いています。我が国の国会は 8 日間延期することになり、終盤国会で積み残した法律案件の成立を目論むこととなります。とは言いながら、皇統継続のための法案や、スパイ防止法案など、現在の我が国にとって非常に重要な法案をいくつも成立させ、高市内閣の仕事ぶりに着目しているところではあります。大きなテーマであった骨太の方針が先日無事に閣議決定され、今後の我が国の行方を決める方針がおおよそ決定しました。期待を込めて高市首相を応援していきたいと思っております。

先月の「養老の里便り」でもお伝えしましたが、地域の医療や介護に対する国の方針が変わります。高齢化が進む地域のインフラを維持するために、皆様にもお願いをしなければならないことが出てきそうです。その一つに新型コロナなどの感染症に関する対応があります。過去 3 回新型コロナウイルスクラスターを経験したおかげで、スタッフの経験は増え、対応力も進歩が見られています。ウイルス自身も人体への毒性低下と感染力の増強が見られます。2 類だったこのウイルスは現在 5 類に分類され、一般的なウイルスとして扱われることになりました。この厚労省の決定は、この感染症に対する国の関与を低減し、自己責任・負担を求めるものになっています。国の対応の変化に呼応して、養老の里でも対応を検討しました。若者には症状がほとんど見られないウイルスのレベルにはなりましたが、高齢者や重い持病を持つ方には命に関わる場合があります。老人保健施設にとっては、今もなお重大なウイルス感染症です。従って、新型コロナウイルス感染症に対する今後の対応としては、感染して重症度の高い方については適切に対応できる病院に入院していただく。軽症の方に対しては、一般的な感冒として経過を観察し、万一重症度が悪化していく場合には、然るべき時点で内科的な治療を開始する。ということにしたいと思っております。いずれにしても、ワクチンは事前に接種をお願いしたいと考えています。養老の里は高齢者の皆様が共同生活を続ける施設です。施設内で一人感染者が出るとほぼ確実にクラスター化してしまいます。その状態をなんとしても避けたいと、スタッフは日々注意を傾け努力しています。皆様にもご協力をお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

林 正俊

スタッフから

看護部；暑い日が続いています。エアコンの調整を工夫し、夏風邪など体調不良に注意してまいります。

介護部；気温の変化が激しい為、家族様には衣類等の持参をお願いすることが度々あると思いますので、ご協力ください。